

「地域のしごとと魅力体感・つながりづくり事業」 県北地方振興局

事業の目的

- イノベ構想重点分野や次世代産業分野で活躍する企業や県北地域の地場産業で活躍する企業といった地域で活躍する企業について、体験や見学等を通して「地域のしごと」の魅力や、将来を担う子どもたちやその保護者に体感してもらう。
→「地域のしごと」に対する誇りや愛着心の醸成、さらには県北地域全体に対する興味関心を高める
→イノベ構想や次世代産業、地場産業といった地域企業に対する理解促進
- イノベーション・コースト構想推進機構やふくしま田園中枢都市圏と連携し、イノベ構想波及促進や地域企業の参画促進につなげる。

成果指標・目標値

- イベント参加者数 150人
- 参加者アンケート「満足」「やや満足」80%以上

現状・課題

- 産業の担い手減少、地域企業の魅力発信、イノベ構想の更なる周知について
 - 管内の高校卒業生数はH30年度末4,324人→R3年度末3,867人(約▲11%)と減少傾向となっており、将来の産業の担い手が減少が課題である。
 - 「県内に魅力を感じる企業がある」と回答した者は県北地域で26.6%と、県全体の28.9%よりも低くなっており、地域企業の魅力発信が課題である。(R4県政世論調査)
 - 「福島イノベ構想について知っている取組」について、「特にない」と回答した者は20代で38.6%、30代52.7%、40代47.6%(全体では24.8%)であり、働き盛り世代かつ小中学生の保護者世代が特に低くなっており、イノベ構想の更なる周知が課題である。(R4県政世論調査)
- 地域企業のイノベ参画の一つの目安である「地域復興実用化開発等促進事業費補助金」について、令和3年度までに県北管内企業は6企業の採択(全体の約2%)となっており、管内の就業人口や地域内総生産が県内の1/4程度であることから、地域産業の活性化にもつながる地域企業参画に向けた取組等が必要である。

事業概要

(1)親子で県北地域で活躍する企業等の魅力体感 ～県北のワクワクに触れよう!～

○親子体験イベントの実施

日程：令和5年8月～11月頃(150人程度)
対象：小・中学生とその保護者
内容：「地域のしごと」の魅力や体感できる、地域企業の体験・見学等を実施。

【関係機関との連携】

イノベ機構

…受入企業選定についての情報提供等。

ふくしま田園中枢都市圏

…イベントに関する情報提供(見学も受入予定)。

(2)イノベ構想の波及促進

○地域企業とイノベ機構のつながり支援

地域企業へのイノベ構想関連情報等の提供や参画促進に向けたニーズの聴き取り等を行い、イノベ機構の取組とつなげる。

○地域企業参画促進のためのふくしま田園中枢都市圏との連携 管内市町村への情報提供や活用のアドバイス等



※イノベ構想重点分野や次世代産業分野で活躍する企業や地場産業で活躍する県北地域の企業

※R4年度親子体験ツアーの結果

【ツアー実施結果】

- コース1《ロボット体験コース》 全2回 参加者：40名

ロボット分野 企業体験	+	果樹農業体験 (果樹もぎ取り)
----------------	---	--------------------
- コース2《空のお仕事体験コース》全2回 参加者：32名

航空分野 企業体験	+	地域振興に関する取組体験 (猪革有効活用ワークショップ)
--------------	---	---------------------------------

【参加の反響】

- 参加者募集後2日程度で満員。その後の問い合わせも多数あり、注目度が高かった。
- ツアー後のアンケートで、「身近にあることなのに知らなかった」「初めて果樹園に入った」「もっとたくさんの経験をした」という意見などがあり、どの体験も非常に満足度が高かった。

※アンケート結果より

次世代産業への興味・理解が深まったと回答した参加者	→小・中学生(78%) 保護者(94%)
将来、福島県で働いてみたいと思ったと回答した小・中学生	→80%
将来、福島県で働いてほしいという意識が高まったと回答した保護者	→75%

期待する効果

- ＜県北管内企業の魅力発信＞
イノベ構想重点分野等に取り組む地域企業及び地場産業で活躍している地域企業の認知度向上。
- ＜地域を支える人材の育成＞
地域に対する誇りや愛着心等を醸成し、将来地域を支える人材の育成に寄与。
- ＜イノベ構想の波及促進＞
関係機関等の連携し施策等の支援をしていくことによる、浜通り以外の地域への福島イノベーション・コースト構想の波及促進、住民の認知度向上。